

# エステティック機器認証制度

## 第3.5版

2008年 4月10日第1版制定

2011年 1月25日第2版制定

2012年 3月 7日第3版制定

2013年11月22日第3.2版改訂

2017年 5月23日第3.3版改訂

2019年 9月24日第3.4版改訂

2021年 11月 1日第3.5版改訂

## 目 次

1. 認証制度の目的	2
2. 適用の範囲	2
3. 認証の単位	2
4. 認証基準及び認証の決定	2
4. 1 製品試験	2
4. 2 システム規格審査	3
4. 3 認証の決定	3
5. 認証プロセス	3
5. 1 見積	3
5. 2 申請	4
5. 3 製品試験	4
5. 4 追試験	4
5. 5 製品試験の継続終了	5
5. 6 システム規格審査	5
5. 7 現地調査	6
5. 8 認証の決定	6
5. 9 その他	6
6. 認証シールの付与	6
7. 認証の変更	7
8. 市場に於ける買取り調査	7
9. サーベイランス	7
9. 1 案内	8
9. 2 手順（申請）	8
9. 3 サーベイランスの見積	8
9. 4 サーベイランス申請	8
9. 5 サーベイランス費用の支払い	9
9. 6 サーベイランスサンプル機器	9
9. 7 サーベイランスの結果報告	9
9. 8 不合格の処置	9
10. 認証の終了	
10. 1 認証の終了の要件	10
10. 2 認証を終了する手続	10
10. 3 契約の終了と一部継続	10
11. 認証シールの使用の一時停止及び認証の取り消し	10
12. 契約の解除	11
13. 試験機関の認定	11

## 1. 認証制度の目的

この認証制度（以下、「本制度」という。）は、消費者が安心してエステティシャンによるエステティック機器を使用したトリートメントを受けられるようにするために、サロンで使用するエステティック機器の安全性を確保することを目的とする。

## 2. 適用の範囲

本制度は、特定非営利活動法人日本エステティック機構（以下、「JEO」という。）が別に定める「エステティック機器の安全性に関する試験および検査システム認証書類審査規格」（以下、「システム規格」という。）および「エステティック機器認証規格（2013年7月発行第3.2版、以下、「認証規格」という。）」に個別規格として制定された機種（以下、「カテゴリー」という。）があるものについてのみ適用の範囲とする。

## 3. 認証の単位

認証の単位は、認証規格に明示されたカテゴリー単位とし、事業者のモデル名、型式名毎のモデル認証とする。

なお、本制度の認証は、機器単独ではなく、事業者（システム規格の適用）と機器（認証規格の適用）のセットで扱う。

### 【型式番号（モデル）認証とは】

類似の型式番号群（モデル群、シリーズ）とは、設計仕様、構造仕様、回路仕様、製造方法、設置方法、使用方法などがほぼ同一であるものとする。

さらに、型式番号（モデル）の付与に規則性があり、安全の確保すなわち、試験成績書（試験機関文書No.200711001）の 1. 試験明細結果と 2. 構造記述結果がほぼ同一であるものとする。即ち、ほぼ同等の規格適合性を有していることとする。

類似の型式番号群（類似モデル、シリーズなど）がある場合には、試験見積依頼書の類似モデルの仕様（書式No.001-6）を作成すること。

## 4. 認証基準及び認証の決定

本制度は、下記の製品試験およびシステム規格審査を認証の基準とし、全ての基準に合格する機器に対して認証を付与する。

### 4. 1 製品試験

JEOが定めた認証規格を基準に、JEOが「1.3. 試験機関の認定」に従って認定した試験機関（以下、「試験機関」という。）が試験を行なう。

ただし、試験機関においてJEOが定めた安全基準の一部の検査を既に受けている機器については、登録を受けた試験機関の発行する証明書の写しを添付することを条件に、JEOが定めた認証規格のうち予め定められた部分についてはこれを適用せず、当該規格に関する製品試験は行わないものとする。

なお、エステティック美容ライト脱毛機器は、一般社団法人日本エステティック振興協議会が定める美容ライト機器適合審査制度に基づいて行なわれた適合審査に合格している機器とする。

※認証規格は、下記の「共通規格」および「個別規格」で構成されている。

- ・ 共通規格は、主に火災や感電等の事故防止のために定められたものである。
- ・ 個別規格は、各機器それぞれ特有に要求される安全を確保するために、機種毎に定められたものである。

#### 4. 2 システム規格審査

JEO のエステティック機器認証部門審査委員会は、JEO が別に定める「システム規格」に従って、申請事業者内で実施した申請機器の安全性に関する試験および検査等のシステムについて書類審査を行なう。

#### 4. 3 認証の決定

JEO のエステティック機器認証審査委員会は、上記の試験機関より発行される試験成績書およびシステム規格審査の結果について審査を行い、同審査に従って審査結果報告書を作成し、認証判定委員会へ上程する。認証判定委員会は、当該審査結果報告書に基づき審議を行い、当該機器に対する認証付与の可否を決定する。

なお、エステティック美容ライト脱毛機器の認証は、4.1 に規定した定めに従う。

ただし、認証は、申請者が製造する機器に対して付与するものであり、認証を受けようとする者(以下、「申請者」という。)が JEO と「機器認証に係わる契約」を締結し、認証書の発行をもって認証の決定とする。同一仕様の機器であっても、システム規格審査に合格した製造管理体制以外の工程で製造された機器は、認証の対象とはならない。

### 5. 認証プロセス

認証プロセスの詳細は、下記 5. 1～5. 9 および別途定めるエステティック機器認証フローチャート(文書No.002) ①～⑰に示す。但しエステティック美容ライト脱毛機器は、一般社団法人日本エステティック振興協議会が定めた美容ライト機器適合審査制度に従い対応する。

#### 5. 1 見積

- ① 申請者は、試験見積依頼書(書式No.001)に、必要事項を記入し、指定された見積必要書類を添えて JEO に提出する。

JEO は、提出された見積依頼書および指定された見積必用書類の過不足を確認し関連する見積依頼書および必要書類を試験機関に提出する。

なお、その際、申請者は JEO の請求に基づき見積事務費用(10,000円税別)を指定された期日までに JEO の指定金融機関に振り込む方法により支払う。

- ② 試験機関は、JEO の要求事項に基づき見積書を JEO に提出する。
- ③ JEO は、試験費用及び認証費用を含んだ見積書を作成し申請者に発行する。

## 5. 2 申請

- ④ 申請者は、JEO の見積書に基づいて認証申請書（書式No.003-1）および試験機関依頼試験申込書（文書 No.9911-112）並びに機器の安全性についての試験及び検査システムに関するシステム報告書（書式No.003-2）を作成し、JEO へ送付する。  
また申請者は、JEO が発行する請求書記載の指定された期日までに試験見積書記載の金額を JEO が指定する金融機関に振り込む方法により支払う。

### 【費用に関するガイドライン】

JEO が作成する試験見積書（書式No.002）の内容は以下のとおりとする。

- 1. 試験費用（製品試験・システム規格審査）（機器の試験内容による）
  - 2. 認証費用（認証書発行費用を含む）（100,000円税別）
  - 3. 追加試験費用（認証試験が不適合と判断された場合、申請者は追加で試験を受けようとする場合に要する費用）
- ⑤ JEO は、認証申請書及び請求書記載金額の入金を確認したのち、申請書受理通知書（書式No.004）に JEO 管理番号をつけて申請者に送付する。  
JEO は、試験機関に依頼試験 申込書（文書 No.9911-112）を発行する。  
試験機関は、受付番号および試験機関ファイル番号を付して受付案内書を申請者へ、写しを JEO へ送付する。

## 5. 3 製品試験

- ⑥ 申請者は、受付番号および試験機関ファイル番号を付して試験機関へサンプル機器を送付する。  
送付するサンプル機器は、試作品ではなく、認証の対象となる機器の製造工程を代表するもので、生産操業のために確立された方法、原材料、部品等を用いて組み立てられたものでなければならない。
- ⑦ 試験機関は、製品試験の結果、認証規格に適合している場合、JEO に試験成績書（試験機関文書No.200711001）および請求書を発行し、JEO はこれを確認し、試験機関が指定する金融機関に振り込みする。  
なお試験機関は、試験終了後取り決めに従いサンプル機器を申請者に着払いにて返送する。

## 5. 4 追試験

- ⑧ 製品試験の結果、認証規格に不適合である場合、試験機関は、中間報告書と共に追加試験見積書を JEO に発行する。
- ⑨ JEO は、試験機関から送達された中間報告書および追加試験見積書を申請者に送付する。

- ⑩ 申請者は、製品試験を継続または終了するかを決定し1ヶ月以内にJEOに連絡をする。
- ⑩ 継続する場合、申請者は、JEOに追加試験費用を支払い、試験継続申請書（書式No.008）を送付し、JEOは、これを確認し試験機関へ試験継続連絡書（書式No.009）を送付する。
- ⑪ 申請者は、試験機関から請求された追加資料を提出する。  
 なお、3ヶ月以内に追加試験の資料とサンプル機器を提出しない場合は、製品試験を継続しないものとみなし、JEOは、申請者に不合格通知書を発行するとともに、試験機関に成績書（試験機関文書No.200711005）および請求書の発行を求め、5-3⑦の規定に沿って支払いする。
- ⑫ 追加試験の結果、適合の場合は、その手続きをする。

#### 5. 5 製品試験の継続終了

- ⑬ 製品試験を継続しない場合、申請者はJEOへ試験終了申請書（書式No.008）を提出する。また、JEOは、試験機関へ試験終了連絡書（書式No.009）を発行する。
- ⑭ 試験機関は、JEOに不適合連絡書および請求書を発行する。  
 なお試験機関は、取り決めに従い、サンプル機器を申請者に着払いにて返送する。

#### 5. 6 システム規格審査

JEOが行なうシステム規格審査の運用を以下に示す。

- ⑮ システム規格に従って、当該機器の安全性に関する試験及び試験システムを確立、実施および維持することとし、申請事業者は以下の項目について報告（書式No.003-2）し、書類による審査を受ける。
  1. 申請機器の生産形態について
  2. 申請機器の安全性についての試験・検査を担当する部門の組織体制について
  3. 申請機器に関する顧客からの苦情・相談を受け付け、対応する体制・手順について
  4. 申請機器の個別の識別番号（製造番号）について
  5. 試験・検査の方法について
  6. 試験・検査の実施と保存するための手段について
  7. 試験・検査の不合格品に対する処置方法について
  8. 試験・検査を実施した処置についての記録の保管について
  9. 不合格品に関するデータ分析や改善活動について
  10. 申請機器の試験・検査に使用する監視測定器について
  11. 監視測定器の校正について
  12. 当該製品を顧客先で据付けることがある場合の作業手順や点検・確認に関する

#### 手順について

- 1 3. 当該製品を顧客が安全に使用するための説明や情報提供を行う手順について
- 1 4. 当該製品に関する修理及び保守に関する手順について

輸入販売事業者が海外製品を申請しようとする場合、当該申請事業者は、国内の販売に責を負うことから、「機器の安全性についての試験及び検査に関するシステム報告書」の上記の記載項目の内、1 2, 1 3, 1 4項は申請者が作成しなければならない。

但し、輸入販売事業者がシステム規格審査を受けるに当たり、当該機器を製造している海外の事業者から何らかの事由により、当該申請事業者に対して情報が開示されず報告書の提示が困難な場合、申請事業者は JEO にその旨を書面により報告し、JEO の指示に従って対処する。

JEO は、申請者の申告に基づいて、海外製品で「機器の安全性についての試験及び検査に関するシステム報告書」の作成が困難と認めた時、以下の措置をとる。

海外の申請機器を製造する事業者又は事業所が IS09001 を認証取得している場合に限り本報告書の一部又は全部を免除することが出来る。

但し、この場合 IS09001 認証取得事業者又は事業所において、当該申請機器が IS09001 認証の範囲に含まれていること、および IS09001 の認証書の写しを提出する事を要件とする。

#### 5. 7 現地調査

- ⑩ JEO が必要と認めた場合は、申請者に通告し書類審査と共に現地調査を行う場合がある。

その際、この調査に係る費用については、別途申請者が負担する。

#### 5. 8 認証の決定

- ⑪ JEO は、上記 4. 3 「認証基準及び認証の決定」に従い認証を決定し、申請者は JEO と「エステティック機器認証に関する契約書」を締結する。なお認証の効力は当機構が認証を決定した翌日から発生するものとする。

#### 5. 9 その他

- ⑫ 認証申請を取り下げた場合に於いても、試験費用と認証費用は返却しない。
- ⑬ 重要部品等の変更がある場合、申請事業者は届出を行うこととし、JEO は、内容確認をおこない結果により当該機器の認証を取り消す場合がある。

#### 6. 認証シールの付与

上記の「4. 認証基準及び認証の決定」に従い、認証書を交付された事業者(以下、「認証事

業者」という)は、「エステティック機器認証に関する契約書」で規定する認証シールの使用方法を遵守することを条件に、JEOが発行する「機器認証シール」を購入し、当該機器に認証シールを貼付することができる。ただし、当該機器であっても認証書交付日以前に製造された機器に対して貼付してはならない。

## 7. 認証の変更

認証事業者は、業態、認証の範囲、認証書記載事項、製造管理体制（エステティック機器認証文書 005「エステティック機器の安全性に関する試験及び検査システム認証書類審査規格」のすべての項目を含む）、その他変更が生じた場合は、JEOに届出をしなければならない。エステティック美容ライト脱毛機器は、一般社団法人日本エステティック振興協議会の定めた美容ライト機器適合審査制度が定めた手順に沿って対応する。

JEOは、当該届出に基づき、追加の製品試験及びシステム規格審査を必要とするかどうかを決定し、その結果を認証事業者に文書で回答しなければならない。なお上記審査が必要となった場合は「5.認証プロセス」に準じて審査を実施する。

なお、認証の変更を届けなかった場合、もしくは当該届出内容が以下に該当する場合、JEOは当該機器の認証を取り消すことができる。

- ①当該認証機器製造に関する権利を第三者へ譲渡した場合
- ②製造管理体制の一部または全部を第三者へ移管した場合
- ③製造事業所（下請け工場等を含む）を変更した場合
- ④認証事業者の経営権に係る事項を変更した場合
- ⑤海外製品において当該製造事業所が IS09001 認証を喪失した場合
- ⑥その他変更内容が合理的理由により認証の維持が困難であると JEO が判断した場合

## 8. 市場における買取り調査

認証事業者が「4. 認証基準及び認証の決定」に従い、正しくこれを履行しているか否かを調査する必要があると JEO が認めた場合、当該事業者はその目的を通告し、市場に販売されている認証機器を買取りし、調査することができる。

調査の結果、JEO のエステティック機器認証審査委員会は、調査対象事業者および調査対象機器対応について審査し判定委員会にその結果を上程する。

なお、この調査に係る当該機器の買取り費用及び試験費用は、認証事業者の負担とする。

## 9. サーベイランス

JEO は、認証事業者に対して、「エステティック機器認証に関する契約書」に基づいてサーベイランスを行なう。定期的なサーベイランスとは、エステティック機器認証部門審査委員会が認証機器の初回「製品試験」および「エステティック機器の安全性に関する試験および検査システムの書類審査」の結果（海外製品においては IS09001 認証）が引き続き維持されているかどうかを認証事業者の提出する仕様変更等の申請を検討し、かつ検査の必



要があると認める場合において「同一性検査結果報告書」の提出等によって確認するものである。定期的なサーベイランスは、当該機器が認証された日を起算日とし、原則として3年が経過する毎に行なうものとする。

なお、認証後に仕様等を変更した場合は、原則として初回申請と同様の製品試験を行うものとする。

但しエステティック美容ライト脱毛機器は、一般社団法人日本エステティック振興協議会の定めた美容ライト機器適合審査制度に沿い対応し、左記審査制度に定められた直近の期限に合わせてサーベイランスを実施する。

次の機器は、エステティックトリートメントの際に、機器を直接肌に対して使用せず、機器の持つ機能の肌に対する直接的影響力がきわめて少ないため、サーベイランスの対象除外機器とする。

該当する機器は、「個別規格」で定めた機器の内、以下の機器とする。

- 2-1-13 エステティックスプレー機器
- 2-1-18 エステティックワックス溶解機器
- 2-1-25 観察用エステティックスコープ
- 2-1-26 肌観察用紫外線機器
- 2-1-27 肌質観察機器
- 2-1-28 エステティック用電動椅子・ベッド

また、次の機器は、比較的単純な構造で故障頻度が少ないため、認証を取得した日から起算して5年が経過する毎にサーベイランスを行うものとする。

該当する機器は、「個別規格」で定めた機器の内、以下の機器とする。

- 2-1-12 エステティック洗浄回転ブラシ機器
- 2-1-15 エステティックフェイシャル吸引機器
- 2-1-19 エステティックパラフィン溶解機器

## 9. 1 案内

JEOは、管理台帳に基づき認証取得後3年又は5年に到達する日の2ヶ月前に、サーベイランス実施案内書（書式No.010）を認証事業者に送付する。

エステティック美容ライト脱毛機器は対象機器の同一性検査等に関しては、一般社団法人日本エステティック振興協議会の定めた美容ライト機器適合審査制度が定めた手順に沿い対応する。（以下9.2から9.8全て。））

## 9. 2 手順(申請)

初回認証申請の際と同様、「5. 認証プロセス」に準じて行なうものとする。

認証事業者は、送付された案内書に同封されているサーベイランス審査見積依頼書(書式No.016)に必要事項を記入し、審査必要書類等をJEOに送付し、JEOがこれを確認し、かつ「同一性検査」を必要と認めた場合は試験機関に送付する。

試験機関は、送付された資料に基づき見積書を作成し JEO に送付する。

但し、「5.6 システム規格審査」においては認証事業者が当機構の審査に合格した体制を維持している場合は、サーベイランス申請時に「認証申請機器におけるシステム書類審査免除申請書」（以下「免除申請書」）を提出することにより審査を免除する。なお、「免除申請書」を提出する際には、エステティック機器認証文書 005「エステティック機器の安全性に関する試験及び検査システム認証書類審査規格」に定められている以下の記録を添付することとする。

以下

5.2 試験及び検査の実施

6.2 不適合機器に対する処置

7.2 監視測定機器の校正

### 9. 3 サーベイランスの見積

JEO は、サーベイランス申請書受理通知書（書式No.018）を発行した後、サーベイランス試験見積書（書式No.017）を申請者に発行する。

JEO が作成するサーベイランス見積書の内容は、以下のとおりとする。

1. サーベイランス費用（同一性検査・システム規格審査）（機器の検査内容による）
2. サーベイランス認証費用 （30,000円税別）

### 9. 4 サーベイランス申請

申請者は、JEO が発行したサーベイランス見積書（書式No.017）を確認し、サーベイランス申請書（書式No.011）に必要事項を記入し、申請当初に提示した「機器の安全性についての試験及び検査に関するシステム報告書（写し）」または「認証申請機器におけるシステム書類審査免除申請書」を添えて JEO に提出する。

### 9. 5 サーベイランス費用の支払い

申請者は、サーベイランス申請と同時に JEO が請求するサーベイランス見積記載金額を指定された期日までに JEO の指定金融機関に振込する。

### 9. 6 サーベイランスサンプル機器

申請者は、サーベイランスサンプル機器を試験機関の要求に基づき提供する。

### 9. 7 サーベイランスの結果報告

エステティック機器認証部門審査委員会は、認証事業者から提出された申請書類及び、「システム規格審査」が実施された場合の審査結果、同一性検査を実施した場合に試験機関から提出されたサーベイランスの結果成績書を踏まえてサーベイランス合格の可否

を判断し、その結果を認証判定委員会に上程する。

認証判定委員会は、上記審査委員会の判断を踏まえてサーベイランス合格の可否を決定するものとし、その結果を申請者に通知する。

#### 9. 8 不合格の処置

不合格となった場合は、実情に応じて申請者に是正処置勧告を行い、申請者が合理的な理由がなく同勧告に応じない場合は、認証を取り消すとともに公表する。

また、サーベイランスを受審しない場合、当該認証は有効期間満了日をもって失効する。

### 10. 認証の終了

#### 10.1 認証の終了の要件

当該認証機器は以下のいずれかに該当する場合には、認証を終了する。

- ・当該認証機器の販売を終了した場合
- ・当該認証機器のサーベイランスを受審しない場合

#### 10.2 認証を終了する手続

1. 認証事業者は以下の書類を JEO に提出する。

(1) 「認証機器販売終了申請書及び誓約書」

または

(2) 「認証機器サーベイランス受審辞退申請書及び誓約書」

2. 認証事業者は購入した認証シールで未使用のものを返却する。

3. 「9.8 不合格の措置」における認証の失効に該当する場合において合理的な理由がなく 10.2 1 (2) の書類提出しなかった場合は、認証を取り消すとともに公表する。

#### 10.3 契約の終了と一部継続

10.2 の手続きをもって当該機器の認証が終了し、当機構と認証事業者が締結した「エステティック機器認証に関する契約」が解除される。ただし、認証事業者は、同契約第 23 条補償の項の遵守は継続される。

### 11. 認証シールの使用の一時停止及び認証の取り消し

1. 認証事業者が次の各号に掲げる事由の一に該当する場合、JEO は認証事業者に対して調査・報告書提出要請及び又は是正勧告を行い、一定期間認証シールの使用を停止させることができる。

(1) JEO が、当該認証機器による事故等に関する情報を入手した場合

(2) サーベイランスの結果として不適合があったが、当該不適合事由の内容を精査し即時取り消しは妥当ではないと JEO が判断した場合

(3) 認証シールの誤用が認められた場合

- (4) 本認証制度及び JEO が定めた認証手順・基準・規定に対する違反があった場合
- (5) 一定期間の製造中止等の合理的理由により、認証機器の製造が行なわれない場合であって、JEO と認証事業者が合意した場合

2. 認証事業者が次の各号に掲げる事由の一に該当する場合、JEO は認証を取り消すことができる。

- (1) JEO の改善勧告にもかかわらず、改善がなされない場合
- (2) 認証機器の製造中止、その他の事由による認証の返上の申し出があった場合
- (3) 解散又は破産申立の手続きを開始した場合（民事再生法・会社更生法・特別清算等の適用会社を含む）
- (4) サーベイランスの結果、当該機器に不適合があり是正されない場合
- (5) 機器の設計上或いは製造上の瑕疵に起因する事故により身体被害が発生したにも関わらず、適切な改善がなされない場合
- (6) 認証のために必要とされる費用を支払期日までに納付しない場合
- (7) 「エステティック機器認証に関する契約」に対する違反がある場合
- (8) 認証シールの使用の許諾が一時停止されている期間に、認証シールを使用する等不適切な手段を講じた場合
- (9) 別途定める罰則規定による認証取り消しが妥当と JEO が判断した場合

## 12. 契約の解除

- 1. 認証事業者は、JEO に書面で通知することにより、「エステティック機器認証に関する契約」を解除することができる。この場合、本契約は、認証事業者から書面による通知が JEO に送達された日の 30 日後に終了する。
- 2. 認証事業者が次の各号の一に該当する事由が生じたとき、JEO は本契約を解除することができる。
  - (1) 10.2. の規定に基づき、JEO が当該認証機器の認証を取り消したとき
  - (2) JEO との間の信頼関係を破壊する行為があったとき
  - (3) 認証シールの偽造・改ざん等の不正行為があったとき

## 13. 試験機関の認定

試験機関の認定は、その機関が行政監督官庁により登録又は認証機関として認められ且つ ISO/IEC17025 要求事項を満たしていることを JEO が確認し決定する。

### 【改訂履歴】

- 1. 第 2 版 2011.01.25 第 5 項 ISO 認証取得者への対応処置を新規作成
- 2. 第 3 版 2012.03.07 第 4 項 経済産業大臣の登録を受けた試験機関・・・を新規作成

- 3. 第 3.2 版 2013.11.22 第 5.6 項 サーベイランス期間の変更
- 4. 第 3.3 版 2017.05.22 第 12 項 試験機関の認定の条文変更  
エステティック美容ライト脱毛機器の対応条文の補足
- 5. 第 3.4 版 2019.09.24 第 7 項 審査実施時の方法及び届け出項目の追加
- 第 3.4 版 2019.09.24 第 9 項 美容ライト脱毛機器のサーベイランス時期の補足
- 第 3.4 版 2019.09.24 第 9.2 項 美容ライト脱毛機器のシステム書類審査の免除を追加
- 第 3.4 版 2019.09.24 第 9.3 項 サーベイランス費用の変更
  
- 6. 第 3.5 版 2021.11.01 第 5.8 項 契約書の締結及び効力の発生日の明記
- 第 3.5 版 2021.11.01 第 9 項 サーベイランスにおける認証機器の認証規格要件の継続の確認を基本的に審査委員会にて実施することに変更
- 第 3.5 版 2021.11.01 第 9.1 項 上記 9 項の改訂に伴う美容ライト脱毛機器の対応を追加
- 第 3.5 版 2021.11.01 第 9.2 項 上記 9 項の改訂に伴う手順を修正
- 第 3.5 版 2021.11.01 第 9.4 項 サーベイランス申請における「認証申請機器におけるシステム書類審査免除申請書」の提出を追加
- 第 3.5 版 2021.11.01 第 9.7 項 実態を踏まえて全面修正
- 第 3.5 版 2021.11.01 第 9.8 項 実態を踏まえて全面修正
- 第 3.5 版 2021.11.01 第 10 項 「認証の終了」の項の新設